

體操科

- (2)(1) 停止間歩調ヲ取ルコトナク行進ヲ起サシムルニハ如何ナル號令ヲ下スカ
 横隊行進中兵卒ノ遵守スベキ規則ヲ示セ
 三十七年五月執行

修身科

- (三)(二)(一) 誠 慎獨 ヲノ意義ヲ詳記セヨ
 業務ニ對スル道ヲ述ベヨ
 教育者ニハ如何ナル性格ヲ要スルカ

教育科

- (一) 悟性及理性ヲ説明セヨ
 學校ニ於ケル儀式ハ訓練上如何ナル効果アルカ
 初メテ小數ヲ教授シ小數ノ概念ヲ得シメントス其教案如何
 國語科教授ノ材料ヲ問フ
 二部教授ハ如何ナル場合ニナシ得ルカ且其長所ト短所トヲ述ベヨ

(五)(四)(三)(二)(一)

國語科

左ノ語句及歌ノ意義ヲ解釋セヨ
 鶯人曉を唱ふる聲明王の眠を驚かす程にもなかりしかばいつも御ねがひがしらにてつ
 やつや明寝もならざりけり
 南殿の御前の櫻のいみじう神さびてはならぬが咲きけり
 下襲の尻引き直す 追手搦手
 佐保姫 兵奔々となみ居たり 元服
 とめこかし梅さかりなるわか宿を
 うとさも人はをりにこそよれ

一文法

左ノ文ヲ解剖シテ先ヅ品詞ヲ類別シ次ニ文ノ成分ヲ説クベシ
 あゝ榮しき春は已に過ぎたり
 文例ヲ擧ゲテ左ノ動詞ヲ受身可能使役ニイヒワケヨ
 童子犬を逐ふ
 左ノ助動詞ノ活用ヲ示セ

花散りさ 花散らす

左ノ文ニ誤ラアラハ正セ

私事相變らず壯健に候は、憚ながら御案じ下されまじく候
仰ひて天に耻ぢざる人こそよく大事に堪へ得べし

一作文

戦地に在る友人に寄する文

櫻花ノ説

漢文科

左ノ文ヲ片假名ヲ以テ普通文ニセヨ

漢汲長孺吳張子布輩皆負氣自高昌言倨色不少屈抑以取合當世視人君之尊不爲之動遇事輒面
爭其短無所忌此皆流俗所謂憊人也而朝廷恆倚之以爲重狐鼠之盜鬪其進退以爲恭肆彼豈用區
區之才智以服人哉人望而憚之以其氣節之足尙也

左ノ文ニ句讀ヲ切リ反點ト送假名トヲ施セ

暴虎憑河夫子以警子路祖禡暴虎詩人以危與敵愾戰無以異焉其猛毅捷足立懦振怠者千古
豈有偉于此者哉

左ノ語ニ讀假名ヲツケ其義ヲ解セヨ

高鳥盡良弓藏 深文巧詆 歌數闋 漸盡 支吾 妖氣 敵愾

珠算

一 整数ニ整数ヲ乗ズルトキ及整数ヲ小數ニテ除スルトキノ積及商ノ位ヲ定ムル法則ヲ記セ

二 露國貨幣ノ單位ハ留ニシテ留ノ百分ノ一ヲ哥トス銀貨一留ハ凡我壹圓參錢八厘ニ當ル
サレバ千八百九十五留八十五哥ハ凡我幾何ニ當ルカ

三 慶應元年ハ紀元二五二五年ニシテ同三年ノ翌年ハ明治元年ナリ明治十九年ニ生レタル
モノガ滿十五歳ニナル年ハ紀元何年ナリヤ

四 一等米拾五圓參拾錢 二等米拾四圓九拾八錢 三等米拾四圓六拾五錢 四等米拾四圓
參拾參錢 五等米拾參圓九拾六錢 此平均相場如何

五 百里十五丁ノ道ヲ十五日ニ步行セルトキハ平均一日幾里ヲ行キシカ
筆算

(1) 入場料普通一人參錢學生一人壹錢或日入場總人員四五七四人入場料計百圓四拾八錢アリ
ト云フ此中學生幾人アリシカ

(2) 本邦度量衡制度ノ大要及各基本單位ノ名ヲ示セ

- (3) 左記ノ三ヶノ分數中最大ト最小ナルモノ、差ヲ示セ
 $17\frac{1}{4}, 14\frac{1}{4}, 6\frac{3}{4}, 15\frac{1}{4}, 12\frac{1}{2}, 19\frac{1}{8}$
- (4) 四十坪ノ地面ニ厚サ二寸五分ニ砂利ヲ敷クニ六人ノ人夫ガ毎日九時間宛働キ五日ヲ要スルナラバ百五十坪ノ地面ニ厚サ三寸ノ砂利ヲ敷クニ十二人ノ人夫ガ毎日八時間ツ、働クトキハ何日ニシテ成功スルカ

理科

- 一 高山ニ於テ沸騰點ノ低キハ何故ナルカ又此沸騰點ヲ知ツテ山ノ高サヲ知リ得ル理如何
- 二 吾人ノ呼氣中ニ含マレ居ル氣體ノ名稱及ソノ檢出法ヲ述ベヨ
- 三 十字科植物ノ花ノ構造ヲ圖解セヨ
- 四 鳥ノ飛翔シ易キハ何故ナルカ

兵式科 (筆答)

各個教練中轉回ノ動作ヲナサシムルニハ如何ナル號令ヲ下スカ
 命令及報告書ノ封筒ニ二個ノ十字ヲ存シ他ハ之ヲ抹殺シアルトキハ徒歩傳令使ハ如何ナル速度ヲ以テ傳達スルカ

裁縫科 (本准 尋正)

- (一) 小學校ニ於ケル裁縫教授ニ就テ必要ナル標本ノ種類ヲ舉ゲヨ
- (二) 五丈ツトキノ廢物ニテ本裁ニ一枚ヲ裁合サントス但シ一枚ハ棒衽裁ニテ一枚ハ釣衽裁トセシムル如何ニ裁ツベキカ
- (三) 金巾一尺巾二尺五寸ニテ四ツ身單ノ前身ヲ仕立ツベシ

乙種檢定試験問題 (三十三年五月執行)

尋常科准教員

國語科

- (一) 先生は不世出の英傑なり一儒生にして夙に西洋兵學砲術の急務を悟りはじめて蘭書に
 ついて研究せられたること又吉田松陰の膽略を觀破して彼を西洋に渡航せしめむとせ
 られたること等の如きいかに凡人の及ぶところならむ
- (二) 笠置山松のしづくにぬれしより君のたもとはかわかさりけり
 佛とてやうに思はれたるよしにて孔子の文行忠信の四つもて教へられたる如く殺生偷
- (三)

盜邪淫妄語飲酒の五つをいみじくあしき事として世の人になせぞと教へられき

以上三題解釋

- (四) 經書史類 靈時 琵琶法師 華美榮耀 容貌
- (五) 右通讀シテ假字ヲ付ケ次ニ解釋ヲ記セ
學問は種々なりその中に己が才に應じたるものを選びてなすべきなり
右の文章の品詞を區別せよ
- (六) 體育の必用を説け (普通論説文)
- (七) 學齡兒童の父兄に就學に關する注意を與ふる文

教育科

- (1) 教育ノ淵源亦實ニ此ニ存スト云フコトヲ明解セヨ
- (2) 世務ヲ開トハ如何ナルコトカ

地理科

- (一) 左ノ圖ニ國名 島名 有名ナル山川都邑 貿易港 軍港 陸軍所在地及既設鐵道等ヲ記入セヨ

九州ノ略圖

- (一) 我國ノ織物業ニ就キテ知ル所ヲ記セ
- (二) 北海道ノ地勢ニ就キ知ル所ヲ記セ
- (三) 左ノ都邑ニツキ知ル所ヲ記セ
- (四) 弘前 武豊 厦門 若松 米子 打狗 小樽 馬山浦 絲崎 松山

歴史科

- (一) 政權ノ藤原氏ニ移リタル由來ヲ問フ
- (二) 鎌倉幕府ノ組織ヲ問フ
- (三) 徳川吉宗ノ治蹟ヲ問フ
- (四) 左ノ事項ヲ簡單ニ説明セヨ
- (1) 四道將軍 任那日本府
- (4) 山法師 兩六波羅府
- (7) 徳政
- (2) (5) (3) 斑田收受ノ法 關東管領

圖畫科

自在畫

想像シテ筆筒ヲ畫ケ

裁縫科

- (一) 小學校に於て始て裁縫を教授する三時間の教案を作るべし
- (二) 並巾にて三ッ身と四ッ身とを裁方圖及其仕立上寸法を記せ
- (三) 單衣服男物の右袖を縫ふべし(口ぎれ付)

普通體操科

- (一) 行進中右轉回
- (二) 整容法
- (三) 號令三種
- (四) 矯正術ノ内一節解説セシム
- (五) 第一徒手體操第一部

- (六) 第一陸鈴體操第一部
 - (七) 體操科教員ノ心得ヲ三問口答セシム
- 三十三年九月執行

修身科

- (一) 教育勅語中「公益ヲ廣メ世務ヲ開キ常ニ國憲ヲ重ク國法ニ遵ヒ」トイフ語ヲ謹解スベシ
- (二) 外國人ニ對スル兒童ノ思想ヲ如何ニ養成スベキカ
- (三) 貯金ノ利益

教育科

- (一) 教育ノ意義如何簡單ニ説明セヨ
- (二) 感覺ト直觀トノ差別如何
- (三) 教段中豫備ニハ如何ナルユトナ課スベキカ
- (四) 尋常科第一年級ニ於テ正教員ハ習字ヲ教授スルトキ准教員ノ補助スベキ作業如何

國語科

一 講談

(1) 天皇長髓彦を討ち給ふ時空俄にかき曇りて暗夜の如く雨さへ風さへ荒びて戦殆ど艱みにさ折から何處よりか飛び來りけん黄金色せる一羽の鴉御弓の弭にとまりて怪しき光りを放ちければ御軍の勢ひなく振ひて遂に賊亂を戡定し給ひにさ

(2) やがて 更にもいはず 勘定 龜鑑 偉績

(注意) (1) (2) ともに漢字には訓み方の假字を付け(1)は口語に移して解釋し(2)は各句毎に適當なる語釋を付せよ

二 作文

(1) 作文書を借る手紙
(2) 勉業ノ樂

歴史科

- 一 大化改新ノ要領ヲ語レ
- 二 南北朝分立ノ顛末ヲ述ベヨ
- 三 島原亂ノ顛末ヲ述ベヨ
- 四 次ノ各項ニツキテ知ル所ヲ述ベヨ

イ 齋 藏 ロ 東西史部 ハ 東山時代 ニ 憲法發布 ホ 六波羅探
 題

筆算科

- (1) 或人地面三五〇〇坪ヲ金若干圓ニテ買ヒ之ヲ或ル直段ニ賣リテ二一七〇圓ノ損失ヲ被レリ若シ一坪一〇圓ニ賣リシナランニハ五四二五ノ利益ヲ得タラント云フ一坪ノ原價及賣價各幾何ナルカ
- (2) 如何ナル數ヨリ其數ノ十ト少トノ差ヲ引カバ残り一四四ト爲ルカ
 $94.32 \times 67.25 + 1.845$
- (3) 此式ヲ計算シテ小數第二位迄ヲ求ムベシ
- (4) 甲乙丙人共同シテ商業ヲ營ミ資本金額ニ比例シテ利益ヲ分配セシニ乙ハ五六〇圓ヲ得タリ而シテ其資本ハ甲ト乙ノ比ニハ三ノ二ナリト云フ甲ノ所得如何
 注意(3)ハ運算ト答ヲ記シ其他ハ解ト答ヲ記スベシ

珠算科

- (1) $6789 \times 27 \times 6345$

(3)(2) 76485 ÷ 2364
3/6 × 2.85 ÷ 0.3

8^冊 25^冊 30^冊 × 25

4^冊 10^冊 25^冊 ÷ 4^冊 15^冊 24^冊

注意割算ノ割切レザルモノハ小數第二位迄ノ商ヲ求ムベシ

國語科

(一) 謹身節用以養父母

右ヲ半紙一葉ニ縦ニ行四字詰ニ楷行草ノ三體ヲ各別ニ書寫セヨ

圖畫科

(一) 想像シテ菌ヲ畫ケ

體操科

(一) 整容法

號令三種

- (三) 矯正術ノ内一部ヲ解説セシム
- (四) 第一徒手體操ノ一部
- (五) 第一陸鈴體操ノ一部
- (六) 尋常科一二學年生ニ課スル遊戲法二種ヲ問フ

裁縫科

- (一) 大人單衣ノ縫方順序ヲ問フ
- (二) 袖丈一尺四寸五分身丈三尺八寸裁切ニシテ本身服ヲ裁タントス用布何程ヲ要スルカ其積リ方ヲモ記スベシ
- (三) 紅木綿一丈二尺ヲ以テ一ツ身服ノ裁方如何
- (四) 女物綿入袖口ヲ作ルベシ

地理科

- 一 本邦ノ位置境界面積ヲ語レ
- 二 本邦本土ノ重ナル鐵道線路ヲ擧ゲテ其起點ト終點トノ地名ヲ擧ゲヨ
- 三 次ノ各項ニツキテ知ル處ヲ述ベヨ

- イ 輪島町
 - ロ 根室港
 - ハ 黒潮ノ流域
 - ニ 樟腦ノ産地
 - ホ 五帶ノ區別ノ理由東西經度ノ數ヘ方
 - ヘ 新高山
- 三十三年十月執行

修身科

- 一 「我が皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ徳ヲ樹ツルコト深厚ナリ」ノ句ヲ謹解セヨ
- 二 「一旦緩急アレバ義勇公ニ奉シ」ノ句ヲ謹解シ且ツ例話ヲ學ケ今日ニ於テ之ヲ實踐躬行スル機會方法等ノ如何ヲ説クベシ

教育科

- 一 教授ノ方式ヲ學ケ且簡單ニ説明セヨ
- 二 發問ノ方法ヲ列舉セヨ
- 三 教案編成ニツキテ注意ノ要件ヲ問フ
- 四 遊戯ノ教育上ノ價值如何

國語科

一 講讀

- (1) 赤十字社は軍人の戦場に出で、手負ひ又は病に罹れるものをば敵ともいはず味方ともいはず偏く救護して慈愛の情を表すをもてそが趣旨とせよ

(2)

- 叫喚 悼惜 一向節句の談にのみすさびけり 棟梁 確認
- (注意) (1) (2) (ども)に漢字に訓みの假字をつけどもに適當なる語釋を施せ

一 作文

- (1) 稻刈の手傳を頼む文 (書體文)
- (2) 分業ノ利益 (普通記事文)

地理科

- 一 地球ノ形状大サヲ問フ
- 二 本邦ノ重要工藝品五種ヲ學ケ其主産地ヲ語レ
- 三 次ノ各項ニツキテ知レル處ヲ記セ
 - イ あいぬ
 - ロ 飛鳥群島
 - ハ 甲府
 - ニ 紙布
 - ホ 飛驒山脈

歴史科

- 一 内宮外宮ニツキテ知レルコトヲ記セ
- 二 推古天皇ノ願ノ著名ナル事蹟
- 三 後三條天皇ノ御浴積如何
- 四 織田信長勤王事蹟

圖畫科

想像シテ火鉢ヲ畫ケ

普通體操科

整容法

- (1) 矯正術ノ内一節ヲ解説セシム
- (2) 第一徒手體操ノ一部
- (3) 第一陸鈴體操ノ一部
- (4) 號令三種
- (5) 尋常科一二學年生ニ課スル遊戲法二種ヲ問フ
- (6) 三十三年十一月執行

裁縫科

- 一 單衣服の縫方順序を問ふ
- 二 袖丈一尺四寸五分身丈三尺八寸裁切にして棒衽裁にする時は用布何程を要するや其積り方をも記すべし
- 三 紅木綿一丈五尺を以て一ツ身綿入表と同襦袢とを裁合はさんとす如何にして可なるや
- 四 綿入の男袖口を作るべし(實地)

三十四年四月執行

修身科

- (一) 君親ノ恩トハ如何
 - (二) 我が國民ニ如何ナル惡習アルカ
- 注意凡テ答ハ簡潔明白ナルコトヲ要ス

教育科

- 一 算術科教授ニツキ注意スベキ要點ヲ問フ
- 二 興味トハ何ソヤ
- 三 命令又禁止ヲナスニツキテノ心得ヲ問フ

四・教授者ノ心得ヲ問フ

國語科

一講讀

(1) 左の文に付て漢字には訓みの假名をつけ次に全文の意義を解け

一農夫あり虎を携へ出で、麥の熟せりや否やを検す兒問ひて曰く此麥の穂を見るに或は昂く或は俯す熟か貴きと父兩ながらその穂をぬきてこれに論して曰く内充實すれば必ず下るかの昂然として屈することを知らざるものゝ如きは皆その未熟なるに
よりてなりと

(2) 次の假字に漢字をあてよ

キヨウキン ラツル井 タイハツ キヨ チヨウコウ

一作文

(1) 父兄懇話會開會に就き出席を勧誘する文

(2) 忍 耐 (普通記事文)

珠算科

- 一 七人ノ大工ガ一日八時間ツ、働キテ五百圓ニ仕上グルコトノ出來ル仕事ヲ十六人ノ大工ガ一日二十時間ツ、働キテ仕上グルニハ何日ヲ要スルカ
- 二 四十六人ニテ寫眞ヲ取リシニ其代價十一枚ニテ拾圓ニシテ其余ハ一枚五拾錢ツ、ナリト云フ各一枚ツ、ヲ得ルニハ何圓ツ、ヲ出スベキカ

數學科 (簿記) (本正)

左ノ取引ヲ付日記簿仕譯簿(仕譯日記式ヲ用ユル簿)及元簿ニ記入シ損益ノ結算ヲナスベシ

日 本 明治三十四年 營業生 大和屋豊太郎

四月一日 大和屋豊太郎ノ元入左ノ如シ

一 モリソン銀行當座預金五百五拾萬圓也

一 右理屋商會掛賣代金殘金壹百五拾萬圓也

合計金……………圓也

五月五日 米屋英吉ト結社ノ約ヲナシ本日同人ヨリ左ノ通り元入トシテ受取ル

但 損益ハ結算ノ際均シク

分配スベキ約定ナリ

一 正金壹百七拾萬圓也

也但利子ハ年一割二分ノ割合ニシテ明治三十三年九月三十日迄ノ分ハ米屋ニ於テ受
取濟以後ノ分ハ受取未濟ニシテ當店ノ所得ニ歸スルモノトス

合計金……………圓也

六月十日 天地安八聯隊司令部ノ依頼ニヨリ牛肉全勝煮罐詰一百万斤、(一斤金五拾錢
替)并ニ銘酒日本魂二千五百樽(一樽ハ四斗入ニテ金貳拾五圓替)買入ノ周旋ヲナシ
右合計金高ニ對スル五分ヲ手数料トシテ受取ル

七月十五日 明治三十三年一月十五日附五ヶ年間(年七分五厘ノ利附ニシテ毎年十二
月三十一日ニ利子ヲ計算シ元金ニ繰込ム)ノ約定ヲ以テ大方軍治ニ對スル大和屋豐
太郎ノ借入金返却ヲ商賣方ニ引受ケ都合ニヨリ本日右元金并ニ利子(借用當日ヨリ
本日迄ノ分ヲ約定通計算シ)合計金……………圓……………錢ヲモリソン銀行小切手ニテ仕
拂フ

八月二十日 古里屋商會掛代金ノ内金壹萬圓ヲ本日モリソン銀行小切手ニテ受取リ直
ニ之ヲ同行ヘ當座預ケトナス
同二十五日 モリソン銀行ハ爾後新高銀行ト改稱ノ旨同行ヨリ報知シ來ル
九月二十八日 本日海防費金壹萬圓ヲ其筋ヘ獻納ス
十月三十日 鷺屋ヘ貸付金ノ内金壹百參拾萬圓并ニ全高ニ對スル利子金……………圓……………錢

合計金……………圓……………錢ヲ本日千島屋樺太渡リノ爲替手形ニ受取リ殘金ハ引續ニケ
年間貸付ノ約ヲナス

物理科

- 一 試験ニヨリテ摩擦ノ定義ヲ下セ
- 二 虹ノ原因ヲ説明セヨ

化學科

- 一 人間呼吸中ニ水分并ニ炭酸瓦斯ノ存在スルコトヲ證セヨ
- 二 漆喰及セメントノ製法ヲ問フ

數學科

- 一 二數ノ積ハ0.126306ニシテ其一ツハ46.78ナリ他ノ一數ヲ問フ
- 二 次ナル數ノ最大公約數ヲ求ム
568 712
- 三 旅人アリ五里十二町二十五間ノ道ヲ五時間ニテ歩行スレバ十二里二十五町ノ道ハ

何時間ニテ達スベキカ

圖畫科

自在畫 草ニ蟲

體操科

整容法

第一徒手體操ノ一部

第一啞鈴體操ノ一部

矯正術ノ内一筋ヲ解説セヨ

號令三種

尋常科第一學年生ニ課スル唱歌適用ノ遊戯法二種ヲ問フ

體操科

整容法

第一徒手體操

(6)(5)(4)(3)(2)(1)

(2)(1)

第一啞鈴體操

球竿體操ノ一部

第一棍棒體操

矯正術ヲ内一部ヲ解説セシム

高等科男生徒ニ課スル遊戯法二種ヲ問フ

三十四年九月執行

教育科

一 尋常小學校ニ於ケル兒童ノ訓練ニ關シ特ニ注意スベキ要點ヲ問フ

二 發問ノ方法ヲ問フ

三 尋常小學校ニ於ケル國語科教授ノ要旨并ニ作用ヲ問フ

四 尋常小學校ニ於ケル算術科教授上注意スベキ要點ヲ問フ

國語科

一講讀

藤原氏の文弱時代去り源氏の武強時代來るに及びて華奢の風はすたれたり武者繪に見

る義經辨慶などの甲冑姿は實にその頃の軍服にして賴朝の着たる狩衣曾我兄弟の冠れる烏帽子なども常に見る服装なりを要するに衣服も家屋も便利と質素とを旨としたるもの上中下に通じて行はれたり

右ノ意義ヲ口語ニ譯セ但漢字ニハ訓ミノ假名ヲツケヨ
一作文
茸狩に友を誘ふ手紙
廢物利用ト云フコトニツキテ(普通記事文)

珠算科

正教員ハ悉皆

准教員ハ任意四問ヲ問フヘシ

- (一) 六千七百九十五七十九・八ヲ乘セヨ
- (二) ○・五二一ヲ三・二九八ニテ除セ 小數四倍迄求メ以下切捨ヨ
- (三) 十二里三十二町四十八間五尺ト三里二十八間四尺ト五里十七町三尺トヲ加ヘヨ
- (四) 琵琶湖ノ面積ヲ凡百五十方里トシ水ノ深サヲ平均七間トスレバ水ノ容積凡幾百萬石ナリヤ

- (五) 四貫目ハ十五「キログラム」ニ當ル一貫目ハ幾「キログラム」ニ當ルカ又一「キログラム」幾貫目ニ當ルヤ小數ハ四倍ヲデテ計算シ以下四捨五入セヨ
- (六) 一反五畝二十歩ノ地面アリ此内間口十七間三尺奥行二十三間四尺五寸ノ家屋ヲ建築セシトスルニハ幾ル空地何程ナルヤ
- (七) 年利一割五分ノ割合ニテ明治三十四年二月十六日金壹百五拾五圓ヲ貸シ本日(試験ノ當日)受取ルニハ元利金何程ナリヤ又其間ノ日數ヲ問フ

歴史科

左ノ事蹟ノ年代ヲ問フ(期元何年ト記スベシ)

- (一) (イ) 大化改新 (ロ) 平安遷都 (ハ) 鎌倉幕府ノ創立 (ニ) 南北朝合一
- (二) (ホ) 太政返上
- (三) 後三條天皇ノ御治績ヲ問フ
- (四) 天草島原ノ亂ノ原因及其結果ヲ略記セヨ

地理科

- (一) 地球上ノ氣候ニ五帶ノ區別スル所以ヲ解説セヨ

(二)(三)(四)

略圖ヲ描キテ臺灣島ノ山河ノ大勢ヲ示セ
絹織物紡績絲織寸ノ重ナル産地ヲ問フ
次ノ各項ヲ解説セヨ

三十四年十月執行

普通體操科

整 容

呼吸運動

第一徒手體操

第一腰鈴體操

矯正術ノ實地教授法

尋常科一年生ニ課スル遊戯ノ種類ヲ列舉シ其中尤モ興味アリ且心身修練上價值アリト
信ズルモノノ方法一二ヲ列記セヨ
尋常科准教員及保姆志望者ニ課ス

(1)(2)(3)(4)(5)(6)

修身科

一 孝トハ如何

二 職務ヲ選擇スル心得ヲ述ベヨ
三十五年三月執行

歴史科 (二時間)

一 左ノ事蹟ノ年代ヲ問フ

イ 大化ノ改新 ロ 平安遷都

ハ 鎌倉幕府ノ創立

ニ 南化朝合一

二 左ノ人々ノ略傳ヲカケ

イ 聖德太子 ロ 藤原百川

ハ 毛利元就

ニ 山田長政

ホ 大久保

利通

三 醍醐天皇ノ朝ノ重ナル事蹟ヲ問フ

四 五ヶ條ノ御誓文ヲ問フ

三十五年四月執行

修身科 尋准 專正 (共通)

- 一 教育者ノ必得ベキコトヲ述ベヨ
- 二 修身科ノ特色ヲ述ベヨ

三十五年四月執行

國語科

一 講讀

次ナル文ノ漢字ニハ訓ミノ假名ヲツケ次ニ全章ノ意義ヲ解ケ
 凡そ土は處を異にするにつれて其質をも異にする定めなればそこに生育する植物の
 如きも亦常に異なるを例とす臺灣の甘蔗薩摩櫻島の蘿蔔阿波の藍紀伊の蜜柑山城の
 茶上野の桑など地方々々に特有の農産物あるはこの理による

次ナル語ドモノ假名ニハ漢字ヲアテ漢字ニハ訓ミノ假名ヲツケサテ其意義ヲ解ケ

服紗 蘇生 蓬髮徒跣 ソコツ ヒミツ

一 作文

他郷ニ在ル舊師ノ許ニ送ル文 (普通書簡文)

水泳ニつきて

(普通記事文)

圖畫科 (一時間)

想像ニテ鳥(雞)タルト雀(雀)タルトヲ問ハズ)ヲ畫カシム

習字科

茫々普天下孰不仰神京

右半紙一枚ニ縦ニ行五字詰ニ三體各別ニ書寫セヨ

普通體操科

- 一 整容法
- 二 第一徒手體操
- 三 第一啞鈴體操
- 四 矯正術ノ實地教授法
- 五 學校ニ於ケル休息時間中ニ行ハシムベキ遊戲ハ如何ナル種類ヲ可トスルカ及其誘導方法ヲ問フ

六 尋常一二年生ニ課スベキ動作遊戯ノ内最モ興味アリト信ズルモノ一種ヲ撰ビ其目的方
法効果ヲ説明セヨ

三十五年十月執行

修身科

- 一 親ノ子ニ對スル義務及子ノ親ニ對スル義務ヲ述ベヨ
- 二 病人ハ道德的罪人ナリヤ
- 三 小學校教員ノ修養ノ工夫ヲ論ゼヨ

教育科

- 一 教授ノ目的ヲ述ベヨ
- 二 書キ方教授ニツキテ注意スベキコトヲ述ベヨ

算術科 (尋准及保姆)

- (1) 或ニ距離ヲ行クニ毎時ノ速力甲ハ三里乙ハ五里ニシテ甲ハ乙ヨリ六時間多ク要スベ
シトス此ノ距離如何

- (2) 金五拾錢ヲ購卵五十個ヲ買ハソニ購卵三個ノ代ト壹錢參厘不足也一個ノ代如何
- (3) 男女二組ノ子供アリ各人数相等シ今菓物2401個ヲ分配スルニ男一人30個ヅ、女一人
19個ヅ、トシテ過不足ナシ各組ノ人数如何
- (4) 二晝夜ト三時十五分間ニ193里2丁航行スル船毎時平均ノ速力如何
- (5) 甲ハ4日乙ハ6日ヲ要スルコトアリ甲乙共ニナサバ何日ヲ要スルカ

珠算科 (尋准)

- (1) 2324055秒ヲ曆法各項ノ名ヲ命ゼバ如何
- (2) 3里21丁42間26寸ヲ十三倍セヨ
- (3) 田地一町一反九畝ヲ三十四分セヨ

歴史科 (尋准 保姆)

- 一 日本武尊東夷御征伐ノ話ヲ問フ
- 二 奈良時代トハ如何ナル時代ナルカ
- 三 豐臣秀吉ノ勤王ノ事柄ヲ問フ
- 四 明治二十三年ニ起リタル重ナル事柄ヲ問フ

五 新井白石ノ略傳ヲ書ケ

二三四五 尋准

右 一三四五 保姆

地理科 (保姆 尋准)

一 晝夜ノ長短ノ生ズル理ヲ説明セヨ

二 京都奈良大阪三市間ノ鐵道線路ノ圖ヲ描キ其上ニ木津 三寺 柏原 四條畷ノ位置ヲ

表出ス

三 日本海ノ本邦ノ貿易港ヲ舉ゲヨ

三十六年五月執行

修身科

(一) 公德トハ如何

(二) 子ノ父母ニ對スル道ヲ述ベヨ

(三) 勤勉ノ徳アリシ人二名ヲ舉ゲヨ

教育科

一 小學校國語科ノ目的ヲ問フ

二 遊歩場ニ於テ教師ノ爲スベキ事柄ヲ述ベヨ

三 一學級内ノ優等生ト劣等生トノ取扱方法如何

四 教授上興味ノ必要ナル所以ヲ記述セヨ

國語科

一 講讀

(一) 四十餘年一日の如く上下相忘るゝありさまは真に自治のおどろいふべき余一日散策の

ついでその村にいたり安東氏の家に憩しつゝ

我もまたすまはやどしと思ふかな

みやまのかくのやどり木のさと

(二) 其他著はすところの書數十部にして皆先人未發の蘊奥を發し大に世俗の耳目を一掃し

たり當時の縉紳家はかのく其の家格を守り地下の人を見ることが奴隸の如くなりしに

宣長の講筵を京都に開くや縉紳また争ひてこれを聽けり其盛なりし事思ふべし

- (三) 精神一到何事か成らざらむ
十人の見るところ百人の指すところ
- (四) 勘定奉行 藏人 干戈の昔
萬葉集 駿臺雜話
右の文句及口語を解釋せよ

- 一作文
 - (一) 自己教育者とならんとする志望者を伯父の許に言ひ送る文
 - (二) 國語研究の必要を説け
- 普通體操科

- (一) 矯生術 五、六、七節
- (二) 第一徒手最初ヨリ半マデ
- (三) 生徒集合解散ノ二法ヲ説明セヨ

算術科

- (一) 或事業ニ參千圓ヲ要シ各ノ人ノ拂込ム金高ヲ百貳拾五圓トスルトキハ此ノ事業ヲ爲ス

- (二) 幾人ノ仲間ヲ要スルカ
乙ハ甲ヨリハ百圓ダケ多ク又丙ハ乙ヨリハ貳百七拾圓ダケ多ク受取ル様ニ金千五百貳拾圓ヲ甲乙丙三人ノ間ニ分配スルトキハ各ノ取リ前如何
- (三) 一ダース貳拾四錢ノ鉛筆二百四十本ノ價ヲ問フ
- (四) 甲乙丙ノ三人池ノ周圍ヲ散歩シ甲ハ十二分乙ハ十五分丙ハ十八分ニ一周スルト云フ三人同時ニ同所ヲ出發シテヨリ再ビ出發點ニ於テ三人一處ニナルマデノ時間ヲ問フ

歴史科

- (一) 彦火々出見命の御話を問ふ
- (二) 平安遷都は何天皇の何事なるか又其以前は何處に都がありしか
- (三) 織田信長の勤王の事蹟を問ふ
- (四) 徳川吉宗の治績を問ふ

地理科 (尋准 保姆)

- (一) 日蝕月蝕ハ如何ナル者ニヤ簡單ニ説明ヒヨ
- (二) 我國ノ面積人口師團所在地

- (三) 京都ヨリ伊勢參宮ヲナシテ歸路名古屋ヲ經テ京都へ周行スル鐵道線路ノ主ナル都邑ヲ上ケヨ
 - (四) 次ギノ各項ニツキ解説セヨ
 - (イ) 京都 奈良 大阪 滋賀ノ主ナル産物
 - (ロ) 親不知 (ハ) 燈臺 (ニ) 石狩川
- 三十七年五月執行

修身科

- (一) 忠良ノ臣民タランニハ如何ナル道ヲ行フベキカ
- (二) 生計ヲ立ツルニハ如何ナル心得ヲ要スルカ
- (三) 善キ習慣ヲ作ルニハ如何ニスベキカ

教育科 (本准)

- (一) 學校生活ニ於テ兒童ノ感情ヲ陶冶スベキ場合ヲ舉ゲ且其方法ヲ記セ
- (二) 宗教的興味トハ如何ナルモノヲ例ヲ舉ゲテ説明シ之ヲ惹起スベキ必要ヲ説ケ
- (三) 手工科ノ價值ヲ問フ

- (五) 高等科第二學年ニ分數ノ性質ヲ授クル教案ヲ作レ (尋准)
- (六) 兒童ノ性質ヲシラベルコトガ教育上何故ニ必要ナルカ
- (七) 兒童ヲ叱ルコト、讚ルコトニ就テ心得置クベキコトヲ記セ
- (八) $3+2=5$ $2+3=5$ $5-2=3$ $5-3=2$ ヲ教授スル教案ヲ作レ
- (九) 尋常第二學年程度ノモノニ燕ヲ直觀セシムベキ順序方法ヲ述ベヨ

算術科

- (1) 乙數ノ五倍ハ甲ノ七倍ヨリ十四多シ乙ノ三倍ガ百五ナルトキ甲數如何
- (2) 左ノ分數ヲ簡單ニセヨ

$$\frac{5-6+\frac{1}{2}}{2}$$

- (3) 金若干ヲ十人ニ等分スルトキム十二人ニ等分スルヨリモ一人ノ得分參圓多シト云フ此金高如何
- (4) $360 \div 798$ ヲ素因數ニ分解セヨ

歴史科

- (一) 大化ノ改新トハ如何ナルコトカ
左ノ事項及人名ニ就テ知ル所ヲ記セ
- (二) 倭冠 雪舟 能久親王 新井白石 日英同盟

地理科

- (一) 火山トハ如何ナルモノカ
- (二) 臺灣島ノ産業ニ付キテ記セ
- (三) 本州島ニ於ケル太平洋沿岸ノ主要ナル港ヲ列舉セヨ
左ノ地名ニ就テ知ル所ヲ記セ
- (四) 基隆 道後 室蘭 佐世保

裁縫科

- (一) 木綿縞一反ニテ四ツ身ト一ツ身トヲ縫合スベシ
- (二) 九寸巾二尺五寸ノ用布ニテ單ノ袖ヲ仕立ツベシ袖口明ハ六寸ニテ袂ノ九ハ五分

保姆檢定試験問題

(三十三年五月執行)

修身科

- (一) 柔順といふ語を解説せよ
- (二) 博愛衆に及ぼすとは如何なることか
- (三) 修徳の工夫に付

保育科

- (一) 幼児保育上幼稚園の必要なる理由を述べよ
- (二) 幼児保育者の備ふべき性情
- (三) 戶外遊戯に於ける保姆の任務如何
- (四) フレネル氏の定たる二十恩物を列舉し併せて其目的を記せ

國語科

- 一講讀
- (一) 右は陸路の往來運輸兩ながら不便にして或は人の肩を藉り或は馬の背を用ゐたれば僅

の荷を運び敷里の道を行くにも時日を費すこと少からざりき
(二) 意匠。威服 金融 眞實に奉公し給ふべしといひけり。はや破れたれば
(注意) (一) 其は漢字に訓みの假字を付け (一) は其文意を口語にうつして解釋し (二) は各句
毎に適當なる語釋を施せ

一作文

(1) 大風見舞の文

(日用書簡文)

(2) 茶

(普通記事文)

國語(習字科)

上和下陸夫唱婦隨

右ヲ半紙一葉ニ縦二行四字詰ニ楷行草ノ三體ヲ各別ニ書寫セヨ

歴史科

(一) 素盞鳴命出雲國ニ於テ大蛇退治ノ話

(二) 聖武天皇佛法御信仰ノ話

(三) 平政子(源賴朝ノ室)ノ小傳

(四) 左ノ社寺ニツキ知ル處ヲ記セ

イ 北野神社

ロ 稻荷神社

ハ 男山八幡宮

ニ 南禪寺

ホ 大徳寺

ヘ 教王護國寺(東寺)

地理科

一 經度緯度線ニツキテ知ル所ヲ述ベヨ

二 本邦ノ重ナル火山脈ヲ解説セヨ

三 次ノ各項ニツキテ知ル所ヲ述ベヨ

イ 本邦ノ重ナル石炭産地

ろ 基隆

は 保津川

ニ 占守島

理科

一 空氣ノ成分及之ヲ驗スル方法如何

二 室内ノ空氣拔ハ何方ニ作ルベキヤ其理由ヲ併セ説明スベシ

三 一年内ニ枯ル、植物及二年目ニ枯ル、植物各種ヲ擧ゲヨ

四 猫ニ付キ知ル所ヲ記セ

算術科 (筆算)

- (一) 次ノ四題ノ中一題ニ四ノハ解ト答ニハ運算ト答ヲ記スベシ
 一男兒ノ身長95センチメートル胸圍49センチメートルナリト云フ之ヲ各々何尺何寸何分ニ改算スベシ
 但一サンチメートルハ三分三厘ナリ
- (二) 一女兒ヲ着衣ノマ、ニテ秤リシニ125キログラムアリ而シテ衣服ノミノ目方135キログラムナリト云フ其體重ハ何貫何匁ナリヤ
 但一貫目ハ375キログラムナリ
- (三) $(12 + 2\frac{1}{2} + 10\frac{1}{2}) \div (14 + 3\frac{1}{2})$
 此式ヲ計算シテ可成簡單ニスベシ
- (四) 或ル人ノ日給ハ七拾五錢ニシテ夜業ヲ爲ストキハ貳拾錢ヲ増スト云フ此人三十五日間働キテ貳拾八圓八拾五錢ヲ得タリ然ルトキハ此中夜業ヲ爲セシ日數何日ナリヤ

圖畫科

想像ニテ時計ヲ畫ケ

唱歌科

船が代 心はうきだつ ちらくはるく 遠音のラッパ 山田の村も 花さく春
 右歌ヲ自彈自唱セシム
 幼兒ニ教授スル歌曲ニツキ諸注意ヲ列記セヨ及ビ意見ヲ述ベヨ

數學科

珠算

- (1) 五人ノ幼兒アリ其年齡四年三月五年八月四年十一月五年七月六年二月ナリ此五人ノ平均年齡何程ナリヤ
 (2) 金四圓ヲ以テ二十五人ノ幼兒冬ニ其價參錢五厘五錢七厘六錢五厘ナル三種ノ玩具ヲ買ヒ與ヘントス其過不足何程ナリヤ
 右二題解ト答ヲ記スベシ

筆算

- (1) 鯨尺ノ二丈八尺五寸ハ曲尺ノ何程ナリヤ
 (2) 或人所持金ノ三分ノ二五分ノ二ト八分ノ一トヲ費シタル後猶百拾九圓餘リ居レト云

(3) フ此人最初ノ所持金何程ナルヤ
 甲乙丙ノ三數ノ積ハ49.52ナリ而シテ甲ハ1.15ニシテ乙ハ48ナリ丙ナル數ハ如何
 右三題解ト答ヲ記スベシ

保育科

- 一 幼稚園教育ノ趣意如何
- 二 幼児ノ記憶想像作用如何發達ノ有様ヲ述ベヨ
- 三 幼児開誘室遊嬉室等ハ相當ノ整頓裝飾等ヲ爲スヲ例トス其レニ付テノ考案及ビ理由ヲ説ケ
- 四 郊外遊嬉ノ必要ナル所以ヲ述ベ其方法ヲ示セ
- 五 適當ナル幼児ノ組別法如何及ビ一組ノ兒數ハ何名位ヲ度トスルカ

理科

- (一) 物が燃ユルニ必要缺クベカラザル物質ハ何ナリヤ又盛ニ燃ユシムル法及之ヲ消ス法ヲ述ベヨ
- (二) 湯ヲ沸カスニ下ヨリ熱スル方早キハ何故ナリヤ

- (三) 普通ノ有毒植物ヲ列舉セヨ
- (四) 幼児ノ骨ト老人ノ骨ト相異ノ點ヲ擧ゲ併ゼテ衛生上ノ注意ヲ述ベヨ
- (五) 蝶ニツキテ知ル所ヲ記セ

讀書科

- (一) 忍耐とは俗に辛抱強しといふものにして支那にて堅忍抜といひ又有敗不挫などいふも皆これなりすべて人間の事業は手を袖にして得らるべきものにあらず
 右漢文ニ假字ヲツケ次ニ文義ヲ解ケ
- (二) 名詞代名詞動詞形容詞助動詞副詞に屬する語ども各二三を擧げよ

作文科

- 一 貸し置きし書物を取りに遣す文
- 二 動勉

地理科

- (一) 左ノ山川ニツキ知レル處ヲ記セ

- (一) 愛宕山 (ロ) 比叡山 (ハ) 疏水 (ニ) 鴨川
- (二) 東海道鐵道ノ通過スル著名ノ都會ヲ知レル限リ記セ
- (三) 畿内ノ著名ナル産物五個ヲ舉ゲヨ

習字科

外柔内剛 (半紙一葉二體ニ)

圖畫科

自在畫

仕瓶ヲ畫ケ

泰山子ヲ畫ケ

唱歌科

一月一日 君が代 友達 學べよ 大原女 にはどり 遠音のラッパ チラ／＼ホロ

ホロ 燕

活歌曲ヲ自彈自唱セヨ

簡易ヲ進行此數種(已得ノモノ)ヲ彈セシム
幼稚園ニ於ケル唱歌ハ如何ナル種ノモノヲ撰ブベキヤ所思ヲ詳シクノベヨ

修身科

教育勅語中左ノ句ヲ謹解セヨ

「父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦相和シ朋友相信シ恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及ボシ」

歴史科

一 瓊々杵尊天降ケの話

二 桓武天皇の御事蹟

三 松平定信(白河樂翁公)の傳

四 左の社寺に就きて知れる大要ヲ問ふ

護王神社 建勳神社 豊國神社 仁和寺 延曆寺 六波羅密寺

三十三年十月

算術科 (珠算)

- (1) 3476 × 567
- (2) 3601541 ÷ 483
- (3) 3冊7町56間 + 10冊20町28間 - 8冊19町30間
三十四年四月執行
- (1) 幼稚園ハ小學校ヨリモ一層家庭ト連絡ヲツケザルベカラザル所以ハ何方其連絡ニツク
ル方法ハ如何ニセバ可ナルヤ
- (2) 園児ヲ三組ニ分チテ保育センニハ何ニヨリテ組ヲ分ツベキカ
- (3) 物品ノ整頓及清潔ノ慣習ヲツクルニハ如何ニセバヨキカ
- (4) 保育課日トシテ唱歌ヲ課スル理由如何
- (5) 實施

國語科

- 一 講讀
- (1) 左の文につきて漢字には訓みの假名をつけ次に全文の意義を解け

南禪寺は龜山上皇の離宮を移ししものなればその結構いふばかりなし佛殿はいにし
年殿内より火いで盡く焼け失せたりといふをしむべきことにこそかくて知恩院の
境内をへて圓山にいたる静閑を以て名高かりしも今は家多く立ちならびてその風景
見るべからず

(2) 次の假名に漢字をあてよ

リユキ ジュンジュ コンナン メイヨ コソイ

一 作文

- (1) 衣服の裁縫を頼まれたるに答ふる文
- (2) 勉強(普通記事文)

算術科

- 一 金五圓參拾參錢六厘ヲ以テ一筋五錢八厘ノ手拭ヲ幾筋買ヒ得ベキカ
- 二 或ル書物ヲ頁數二百九十七頁十三行一行ノ字數三十五字トスレバ此書物ノ總字數何
程ナルカ

地理及歴史科

- 一 畿内ニ於ケル府及縣名ヲアゲテ
- 二 東海道ニ於ケル名高キ都會ヲ順次ニ西ヨリ東ニ數ヘテ
- 三 我國ヨリ外國ヘ輸出スル重ナル商品三種ヲアゲ且ツ其重ナル産地ヲ記セ
- 四 東山ノ中ノ名高キ峯ノ名ヲ問フ
- 五 日本武尊東夷征伐ノ話
- 六 日清戰爭ノ起リハ何カ
- 七 左ノ社寺及場所ニツキ知レルヲ記セ
 - イ 男山八幡宮
 - ロ 櫻井(攝津)
 - ハ 伏見
 - ニ 六角堂
 - ホ 梨木神社
 - ヘ 建仁寺

理化學科

- 一 十能ニ木ノ柄ヲ付クルハ何故ナルカ
- 二 光ガ直線的ニ進ムコトヲ證スベキ事實ヲ舉ゲテ
- 三 ランプノ口金ノ小孔ヲ塞グトキ火ノ消ユルハ何故ナルカ
- 四 燈用瓦斯ハ何ヲ如何ニシテツクルカ

數學科

- 一 金剛山ハ高サ四千二百九十尺阿蘇山ハ金剛山ヨリ千九百四十七尺高ク淺間山ハ阿蘇山ヨリ千九百九十四尺高シ淺間山ノ高サヲ求ム
- 二 $1\frac{1}{2} \times 2\frac{1}{3} \times 3\frac{1}{4}$ ノ和ニシテ乗セテ
- 三 東京新橋ヨリ京都迄汽車賃ハ下等參圓六拾四錢ニシテ中等ハ下等ノ一倍半上等ハ下等ノ二倍半ナリ上等及中等汽車賃各何程ナルカ

圖畫科

自在畫 花
三十四年十月執行

保育科

- 一 幼稚園保育ノ目的ヲ問フ
- 二 幼稚園ノ課業ハスベテ遊戯ノ性質ヲ有スベシ
- 三 年齢四五歳ノ幼兒ノ感情ハ通例如何ナル特性ヲ有スルカ

四 衆見ト共ニ嬉戯スルニトテ好マザル幼兒ニ對シテハ保姆ハ如何ナル思慮注意ヲナサト
ルハカラズ

國語科

一講讀

絲類織物類を染むるには藍くちなし紅草びんらうじあかねの如き植物性の染料を用ひ
又アニリン染料の如き礦物より得たるものをも用ひ青色の染料は藍より採るが通例な
り藍は草にて畑に作る季候温暖にして濕氣多き土地に適す其の産地は四國の阿波を最
とす

右漢字ニ訓ミノ假名ヲツケ更ニ全章ノ意義ヲトケ

ユビワ ヤクソク ソロバン セキタン イス 休憩 趣意 精妙 經驗 影響

右ノ假名ハ漢字ニ書キナホシ漢字ニハ訓ミノ假名ヲツケヨ

一作文

出京スル人ニ買物ヲ頼ム手紙

衣服 (普通記事文)

歴史科

三種神器ニツキテ知レル處ヲ記セ

桓武天皇都ヲ平安ニ遷シ給ヒシ年代ト其年號トヲ問フ

京ノ五山ヲ問フ

左ノ人々ノ略傳ヲ問フ

- (イ) 大塔宮
- (ロ) 僧空海
- (ハ) 鴨長明
- (ニ) 紫式部
- (ホ) 北政所

算術科

(一) 次ノ算式ヲ解答セヨ

(1) 0.002588×0.06939

(2) $61028 \div 0.00467$ 小数二倍迄求メ以下四捨五入セヨ

(3) $(15)^2 - (3^2 \times 2^2) + (207)^2 - (9 \times 2^4)$

(4) 501. 1837ノ最大公約數及最小公倍數ヲ求メヨ

(5) $3 + \frac{2 + \frac{1}{1 + \frac{1}{2}}}{1}$ ヲ簡單ニセヨ

- (1) 八里十六町四尺ニ百三十七ヲ乘セヨ
- (2) 三人ノ職工ガ八日間ニテ仕事ヲ職工一人ナレバ幾日掛シカ又六人ナレバ幾日ナリヤ
- (3) 五錢ニ三ツノ枵若十チ一圓銀錢五厘ヅハニ賣リテ貳拾錢ノ損ヲナセリト云フ枵ノ數幾何

珠算科

- (一) 一百二萬三百五十二六百八ヲ乘セヨ
- (二) 四萬九百七十六ヲ八百七十九ニ割リ小數二位ヲ求メ以下繰上ケヨ
- (三) 二町五反八畝二十歩ト五町三畝十七歩ト六町二反二十八歩トヲ加ヘヨ
- (四) 三里三間二尺ヨリ二里七町三十二間五尺ヲ引ケ

理科

- 一 物ヲ煮ルニ一旦沸騰セシ以後ハ火ヲ盛ニスルモ無益ナルハ何故ナルカ
- 二 山間等ニシテ發聲スル時ハ遠方ニテ其眞似ヲスルカ如ク聞ユルコトアルハ何故ナルカ
- 三 人生ニ最モ關係深キ植物十五種ヲ擧ゲヨ

四 魚ノ鱗ヲ數及其働ヲ述ベヨ

三十五年三月執行

歴史科 (二時間)

- 一 ずさのをの尊ノ大蛇征伐ノ話ヲ問フ
 - 二 左ノ人々ノ略傳ヲカケ
 - イ 僧月照
 - ロ 廣蟲賣(法均尼)
 - ハ 菅原道真
 - ニ 淀君
 - ホ 徳川光圀
 - 三 左ノ社寺ノ位置ヲ擧ゲコレニ關係アル話ヲ記セ
 - イ 東寺
 - ロ 泉涌寺
 - ハ 日吉神社
 - ニ 大覺寺
 - ホ 四條廢神社
 - ヘ 白峯宮
 - ト 春日神社
- 三十五年四月執行

- 一 想像トハ心ノ如何ナル作用ヲ云フカ及ビ之ヲ練習スル方法
- 二 保育ニ於テハ幼兒ノ心身ヲ共ニ働カシムベシト云フ意ハ如何例ヲ引キテ解釋スベシ
- 三 保育上幼兒ノ個人性ノ發達ニ留意スベキコトヲ例ヲ引テ説明スベシ
- 四 保育中ニ兒童ノ共同心及ビ同情心ヲ養フニ適當ナル場合如何且之ヲ養フニハ如何ニスベキカ

以上筆答

(實地保育ヲ檢スルコト)

圖畫科

想像ニテランプヲ畫クベシ

習字科

一 古き都を來て見れば淺茅が原とぞ成りにける月の光の隈なきて秋風のみを身にはしひ

二 三返歌ひ給ひければ宮をはじめ參らせて御所中に候ひ給ひける女房達折から哀れに覺
ぬて袖をを絞りける

右半紙一枚ニ適宜ニ書寫スベシ

但漢字ヲ楷又ハ行假名ハ平假名ヲ用ユベシ

三十五年十月執行

修身科

- 一 子女ニ對スル務ヲ述ベヨ
- 二 理想ニ近キ烈婦ノ傳ニツテ述ベヨ
- 三 孝ハ徳ニ入ル門ナリト云フ格言ヲ解説セヨ

教育科

- 一 偶發事項ハ如何ニ取扱フベキカ
- 二 教授ノ段階ニ於ケル豫備トハ如何
- 三 教授ハ兒童ノ自動心ヲ發起セシムベシト云ヘル原則ヲ解セヨ
三十六年五月執行

教育科

- 一 幼兒を保育するにつきて最も肝要なる方針を述べよ
- 二 玩具の撰定につきての注意を詳記せよ
- 三 戶外遊戯をなさしむるは如何なる目的といかなる方法とによるか
- 四 フレヘール氏の定めたる恩物中第四恩物とは如何なるものにしてかつ如何なる方法によりて兒童に玩ばしむべきか

算術科

三五八

- 一 一尺參拾八錢ノ縮緬一丈三尺ノ代リニ一反(一丈六尺)五拾貳錢ノ木綿幾何ヲ受取ルベキカ
- 二 三ツノ整數ノ連乘積ハ十九萬五千六百九十三ニシテ因數ノ中ノ二ツハ三十七ト四十三ナリ残りノ因數ヲ問フ
- 三 一ツノ時計ハ一日三分進ミ今一ツノ時計ハ一日五分後ルコノ兩時計一週間ニハ何分ノ差ヲ出ズルカコノ兩時計ヲ月曜日ノ正午時ニ合セ置カバ次ノ月曜日ノ正午ニハ各幾時ヲ指スカ
- 四 四斗俵ト四斗五升俵ト合セテ百五十俵ツノ石高六十四石ナリ四斗俵四斗五升俵幾俵ナルカ

理科

(一) 植物ノ花ノ美麗ニシテ且香氣ヲ有スルハ其植物ニ如何ナル利益アルカ
 (二) 農家ニ取リテノ害蟲ト益蟲トヲ各三以上舉ゲヨ

明治三十七年九月廿五日印刷
 同 年同月廿八日發行

不許複製

編纂者

神谷昌一

京都市御幸町通姉小路北入第八番戶

發行者

藤井孫兵衛

京都市下京區室町通四條下ル第十二番戶

印刷者

大森幾治郎

京都市柳馬場通二條下ル等持寺町第十番戶

印刷所

京都印刷株式會社

京都市御幸町通姉小路北入第八番戶

發行所

五車樓

樓

